



# 国際交流基金 北京日本文化センター 中国・地域巡回教師研修 2011

## ■目次

中国・地域巡回研修に寄せて	2
桂林	4
重慶	6
長春	8
青島	10
合肥	12
大連	14
済南	16
教師向け講義内容	18
学生向け講義内容	19
編集後記	19
事業案内	20

# 中国・地域巡回研修に寄せて

北京日本文化センターは、2011年11月より2012年3月にかけて、中国の地方都市7カ所で日本語教師を対象にした地域巡回研修を行いました。これは新しい試みです。

当センターでは2006年より毎年夏に1週間、高等教育出版社との共催で、「全国大学日本語教師研修会」を開催し、例年、120名～150名の教師が参加しています。また、1993年より毎年約2か月間、日本語国際センター（埼玉県）へ中国大学教師研修団（40名）を送り出し、これまで約750名の大学教師が訪日教授法研修に参加しています。しかし、中国の高等教育機関の日本語教師数、約9450名（2009年国際交流基金調査）を対象にした教授法研修とネットワーク形成のためには、この国内全国研修会と訪日研修のみでは、十分な規模とは言えません。これが今回、地域巡回研修を企画した理由の一つでもあります。

教師が問題意識を持って授業にあたり、成長し続けるためには、新しい情報の提供や、自身の授業を振り返る機会、そして問題を共有できる教師仲間が集まる場を提供することが大きな意味を持ちます。それは、9450名の教師が接している53万人の学習者に対しても影響を与えることにつながるのです。

そこで、北京日本文化センターの常駐専門家が3名に増えたことを機に、「各地域での教授法研修の開催に希望があれば、北京から専門家が出向いて講義をする」という旨の広報を実施しました。開催するのは、あくまでも、それを必要と考える大学側であり、こちらから「近隣の高等教育機関3校以上、30人以上の教師の参加」という条件は出したものの、研修テーマは大学側が選択し、各参加校と連絡を取り合い、自主的に運営していただきました。

そうすることで、地域での日本語教育ネットワークが強化され、また、この機会に我々がその地域の日本語教育情報を収集するという、もう一つの重要な目的も果たせたと考えます。

3名の専門家が同時に移動することで、教師研修の内容に幅ができ、多くの先生方と交流することができました。更に、希望があれば学生向けに「新JLPT説明会」と「アニメ・マンガの日本語」を講義し、学生たちの動機づけにも役立てればと願いました。

2011年度は①桂林（参加教師6校55名）桂林理工大学、②重慶（参加教師12校56名）四川外国語学院、③長春（参加教師16校142名）吉林華橋外国語学院、④青島（参加教師9校68名）中国海洋大学、⑤合肥（参加教師22校77名）安徽農業大学、⑥大連（参加教師42校268名）大連外国語学院、⑦済南（参加教師11校49名）山東青年政治学院、以上計7大学から申請があり実施されました。

2011年度の記録として、また来年の巡回研修につながることを目的に、主催校及び参加者の協力を得て小冊子を作成しました。主催校担当者や参加者から寄せられた感想から、中国の日本語教師が、自身の日本語教授法の向上に非常に熱心であること、また地域単位での日本語教育の発展のために、教師間や学校間のつながりを如何に重視しているかを感じていただけたと思います。今後も中国の日本語教育に携わる先生方が授業を磨くために交流する場を提供していく予定ですが、各地で自主的な実践研究会が発足する契機になれば、なお幸いと考えます。

2012年4月

# 中国·地区巡回研修寄语

从2011年11月到2012年3月，北京日本文化中心在中国7座城市举办了以日语教师为对象的地区巡回研修会。这是一种新的尝试。

北京日本文化中心自2006年起每年夏天协同高等教育出版社共同举办为期一周的“全国大学日语教师研修会”。研修会每年有约120名到150名教师参加。此外，自1993年起每年组成中国大学教师研修团到日本埼玉县的日本语国际中心进行为期两个月的访问，至今已有近750名大学教师参加了此项教学方法研修活动。但是，根据2009年日本国际交流基金会调查显示，中国高等院校有日语教师约9450名，但国内全国研修会和访日研修的规模都不大，这也是决定举办此次地域巡回研修会的原因之一。

为了让教师们持续怀有问题意识授课，为了教师们的不断成长，提供最新的信息、提供回顾自己授课的机会以及为有共同困惑的教师相聚一堂提供场所有着重大的意义。这对9450名教师教授的53万学生也会起到一定影响。

今年北京日本文化中心的常驻专家增加到3名，各地有教授法研修需要时就会从北京派专家到地区进行讲座。举行讲座的地方必须是大学，并且要有临近教育机构3校以上，最少30名教师参加。研修主题由大学选择，与其它学校联络等由该大学自行解决。

通过这种方式，地区间的日语教育交流平台得到强化，并且借此机会我们也收集到了各地区日语教育的信息。

3名专家同时行动可以使教师研修的内容得到扩展，可以和更多的老师进行交流。此外，会根据学生需求举办“新JLPT说明会”和“动漫日语”的讲座，这也为调动学生学习日语的积极性起到了很好的作用。

2011年有①桂林（6校55名教师参加）桂林理工大学②重庆（12校56名教师参加）四川外国语学院③长春（16校125名教师参加）吉林华桥外国语学院④青岛（9校56名教师参加）中国海洋大学⑤合肥（22校77名教师参加）安徽农业大学⑥大连（42个机构268名教师参加）大连外国语学院⑦济南（11校49名教师参加）山东青年政治学院，共7所大学申请并举办了研修活动。

作为2011年度的纪录，同时也为了明年巡回研修活动的举办，我们在主办校及参加者的协作下制作了这本小册子。从主办校负责人和参加者寄来的感想中我们得知，现在中国的日语教师致力于自身日语教学方法的提高，并且为了本地区日语教育的发展，十分重视教师之间以及学校之间的交流。今后，我们还计划为在中国从事日语教育的教师们提供磨练授课技巧的交流场所，并希望这种活动能够成为各地自主举办教学实践研修会的契机。

2012年4月

# 桂林日本語教師研修会

日程：2011年11月3日(木)・4日(金) 会場：桂林理工大学

研修参加校：桂林理工大学(主催)、广西师范大学、桂林旅游学院、玉林师范学院、贺州学院、桂林风帆旅游学校(計6校55名)

桂林は中国南部、広西チワン族自治区の東北部に位置しています。桂林といえば日本人によく知られている観光地、山水画のような景色がすぐに目に浮かびます。漓江の兩岸にそびえる、カルスト地形による奇峰奇岩が連なる景勝地として有名です。

今回の主催校である桂林理工大学のある雁山区は、市中心部からは少し離れています。そこには桂林旅遊高等専科学校や広西師範大学もあり、日ごろから日本語学部の先生たちはスピーチ大会の開催などを通して交流なさっているようでしたが、今回のような研修会は初めての開催だそうです。雁山区以外の学校の先生にも多く参加していただきました。国際交流基金の訪日研修を経験している先生も数人いらっしゃって、双方向型の講義を盛り上げていただきました。

また、「アニメ・マンガの日本語」講座にも他校の学生さんも多く集まっていたり、同じ地域で日本語を学ぶ者が一同に会して楽しい時間を過ごすことができました。皆さん、日本のアニメが大好きなようでした！これからも楽しく日本語を学び続けてほしいです！

## 桂林日本語教師研修会の感想

桂林理工大学：凌慶強

「研修会是如何でしたか。」と教師や学生たちに尋ねると、誰もが「素晴らしかったね。」と答えた。研修会の企画に関わった私の気持ちを一言で言うなら、感無量ということだろう。

今回の研修会を考えた理由はいくつかある。まず、日本語授業の悩みが私自身に少しあったからだ。例えば方言を話す学生の発音問題だ。二点目は日本の方々のコミュニケーションが多くないため、学生が会話に難しさを感じていることだ。三点目は日本語専門家に教授法についての交流をしていただくことはあまりなかったため、教学理念などが時代に遅れているのではないかと懸念してきたことだ。

この度、国際交流基金会北京日本文化センター所属の日本語教育専門家が出席し、学生向けにはアニメ・マンガの日本語、新しい日本語能力試験の説明会、教師向けには日本語初・中・上級の教え方、各教授法に関する講座を催してくれた。学生たちも専門家の講座をコミュニケーションのチャンスとして交歓会を開いた。また、女子学生三人は空港への出迎えから空港への見送りまで、専門家の全コースガイドを体験し、その中で話すことへの抵抗がなくなっていった。

教師向けの講義で指摘に値するのは「日本語の教え方、各教授法」の指導法である。現在も、黒板に仮名と漢字をチョークで書いて講義をする教師が少なくないが、私は松浦先生がご紹介くださった、イラストと映像を参照しながら教えるという教授法に対して興味を持つようになり、この教授法を試みることにした。また、助詞「は」と「が」の役割を巡り、例文を通じて分析、説明していただいた。これまでも若い教師は、助詞の「は」と「が」の使い分けに迷うケースがあり、授業中に説得力のある例を挙げることが出来ずに不満を感じていたようだ。この指導方法は彼らが実際に現在直面している授業中の問題を解決できるので、高く評価されている。

研修会には多くの感想があり、教え方に関する悩みの解消にも役立った。日本語教育専門家との三日間のふれあいも本当に楽しかった。

桂林位于中国南部，广西壮族自治区东北部。桂林是日本人熟知的旅游胜地，山水如画。漓江两岸林立着由于石灰岩地形形成的奇峰异石，是有名的风景名胜。

此次主办校桂林理工大学在雁山区，远离市中心。该地区还有桂林旅游高等专科学校和广西师范大学，平时日语教师们通过演讲比赛等有过交流，但举办类似的研修会还是首次。也有很多雁山区以外学校的老师参加了此次研修会。其中参加过日本国际交流基金会访日研修的教师也有很多，双方向型的讲座调动了现场气氛。

此外，“动漫日语”的课程也吸引了其他学校的很多学生，同一地区的日语学习者在此欢聚一堂。大家看上去都十分喜欢日本的动漫。希望今后大家也能继续这样快乐的学习日语！

## 桂林日语教师进修会感想

桂林理工大学：凌慶強



“进修会怎么样？”，被问到的老师和学生都回答说“太好啦！”。我参与策划了进修会的召开，如果用一句话来表达心情的话那就是“感慨万千”。

之所以想要举办进修会，理由有如下几个。首先是日语课中碰到的烦恼。例如讲方言的同学的发音问题。第二是由于和日本友人的交流比较少，学生感到对话有难度。第三是因为很少请日语专家来交流教学法，所以担心教学理念等是不是落伍了？

日本国际交流基金会北京日本文化中心所属的日语教育专家这次出席进修会，举办了面向学生的“动画、漫画日语，新日语能力考试说明会”以及面向教师的“标日初、中、高级教学，各教学法”的相关讲座。就对学生的讲座而言，发音问题学生很努力练习，这完全是为了掌握正确发音。学生们也把日语专家的讲座当作交流机会而举行了联欢会。还有三位女同学体验了从机场迎接到机场欢送、给专家做全程导游，消除畏难心理敢于说日语的过程。

值得指出的是，松浦老师所作的、面向教师“标日教学法、各教学法”的辅导报告。现在不少老师仍采用粉笔在黑板书写假名汉字的授课方式。我对松浦老师介绍的参照动漫图画讲课的教学方法非常感兴趣，决定采用试试。另外，松浦老师围绕“は”和“が”的作用，通过例子进行分析说明，阐述了“は”使用于主题，“が”应该使用于局部、即主语的从属关系。现在，有些青年教师由于对“は”和“が”的用法认识模糊，导致在课堂上举不出有说服力的例子而招来不满意度。松浦老师的辅导报告因为能解决现实的上课问题，所以受到青年教师的高度评价。

进修会的感想很多，它的确能解决教学的烦恼，与日本教育专家接触的三天时间也真的感到很愉快。

国際交流基金  
北京日本文化センター  
中国・地域巡回教師研修  
2011

時間		内容		
11月3日 木曜	午後	14:40-16:10 1時間半	学生向け 「アニメ・マンガの日本語」	佐藤
		16:20-17:50 1時間半	学生向け 「新しい日本語能力試験の説明会」	柳坪
11月4日 金曜	午前	9:00-11:30 2時間半	教師向け「初級の教え方」 (文法、会話)	松浦
		昼休み		
	午後	13:30-15:45 2時間 15分	教師向け「初級の教え方」 (読解、聴解)	柳坪 (聴解) 佐藤 (読解)
		16:00-17:00 1時間	教師向け 「新しい日本語能力試験の説明会」	柳坪
			解散	



## 私の教師成長の道

広西師範大学外国語学院：陳徳栄

筆者は国際交流基金の招聘を受けて2002年9月24日から11月14日までさいたま市浦和区の日本語国際センターにおいて「平成14年度中国日本語教師研修」に参加した。

その研修を受けた時、教職経験はわずか二年くらいであった。教師の仕事にはまだ慣れておらず、いったい学生に何を、どのように教えればいいのかわからなかった。その上、本学の日本語科は2000年に発足したばかりのため、日本語の教師も新人ばかりで教学に関して交流できる人が少なく、非常に悩んでいるところだった。帰国後、日本で学んだ教授法を使ってみたところ、教学效果がよく、学生たちに大変喜ばれた。

当然、いくらい教授法でも教学内容が学生のニーズに合わない効果が出てこない。そのため、教える対象によって内容を選択することが重要である。私の経験では教える内容として、単純な日本語の言語知識より日本事情のような社会文化の内容が学生に好まれているようである。例えば日本のアニメや観光地の紹介などが大歓迎を受けるのだ。そのため、授業ごとに時間を10分間くらい割いて日本事情を学生に紹介することにしている。

また、大学の教師としては、教学は仕事の一部であり、研究も教師の仕事である。そこで、筆者は教えながら、授業中、そして学生の学習中に出てきた問題を分析してシリーズの研究論文にまとめ、日本と中国の学術出版物に発表した。

私は2011年11月の巡回研修にも参加した。今度の研修は、教授法研修のみではなく、先生方と教授法の活用について意見交換ができ、大変有意義なアドバイスも頂くことができた。

国際交流基金による日本語教師の研修内容は今まで非常によかった。最後に国際交流基金に申し上げる意見としては、これからの研修内容に日本文化の体験や日本事情をより多く入れて欲しいということだ。また、これから巡回研修が教師の交流の場として広がっていけば嬉しいと思う。

## 我的教师成长之路

广西师范大学外国语学院：陈德荣



笔者应日本国际交流基金会的邀请，有幸参加了于2002年9月24日至11月14日，在埼玉市北浦和町日语国际中心举办的“2002年度中国日语教师研修班”。

说老实话，在参加研修之前，笔者从事教师的职业仅两年时间。还没有习惯教师的工作，究竟教给学生什么？怎样教？都不了解。而且由于我校的日语专业2000年刚刚成立，周围在职的日语教师全部都是新人，可以进行教学交流的人很少。回国后，尝试着把在日本学到的教学法应用到实际教学中去，由于效果很好，大受学生们的欢迎。

当然，不管多好的教学法，如果教学内容不符合学生的要求，是不会有任何效果的。所以根据教学对象选择教学内容是非常重要的。根据我的经验，作为教学内容，与单纯的日语语言知识相比，与日本相关的社会知识等日本文化更受学生们的欢迎。比如日本的动漫和观光景点的介绍等就很受欢迎。所以我一般会在课堂上抽十分钟左右时间来介绍日本的社会知识。

还有，作为大学教师，教学只是他工作的一部分，科研也是他工作的一个重要组成部分。因此笔者一边上课，一边对课堂中和学生的学习中出现的問題加以分析总结，写成系列论文在中国和日本的学术刊物上发表。

另外，笔者还参加了2011年11月举办的巡回研修班，这次研修对我来说，与前一次的研修不同，不仅是教学法研修，而且还可以与各位老师就教学法的应用问题，进行了广泛的交流，受益匪浅。

迄今为止，日本国际交流基金会日语教师培训的内容虽然已经很好，但是作为我的意见，希望在今后的研修内容上加入更多的日本文化体验和日本社会知识，把巡回研修建设成为教师们交流的平台。

# 重慶日本語教師研修会

日程：2011年11月11日(金)・12日(土) 会場：四川外国語学院

研修参加校：四川外语学院东方语学院(主催)、四川外语学院国际教育学院、四川外语学院南方翻译学院、四川外语学院应用外语学院、西南大学、长江师范学院、重庆大学、重庆交通大学、重庆三峡学院、重庆师范大学、重庆邮电大学、四川外语学院附属外国语学校(計12校56名)

重慶市は、長江の上流部に位置する盆地で夏の気温が非常に高いため、中国「三大火炉」のひとつと呼ばれています。ここ10年、中国平均を上回る経済成長を続けている、西南地域最大の商工業都市でもあります。

主催校は、さくらネットワーク拠点校(\*注)のひとつ、四川外国語学院。その「川外」は西南地域の日本語教育の中心となる歴史ある学校で、卒業生ネットワークが地域全体に広がっています。そのおかげで今回の研修会には予想人数を大きく超える56名もの方が参加してくださいました。

日本学の伝統が強く、ベテランの先生方の多い地域で、「自分ならどう教えるか」と熱心な議論が進められた姿が大変印象的でした。

\*注:「さくらネットワーク」については以下のサイトをご覧ください。

<http://www.jpff.go.jp/j/japanese/network/>

## 2011年11月重慶日本語教師研修会

四川外国語学院東方語学院：王宗瑜

2011年9月1日、学部長から北京日本文化センターが全国を巡回して日本語教師研修会を開催するという話を聞き、すぐに申し込んだ。翌日に重慶研修会開催の申請を出したところ、すぐに北京日本文化センターから返事が来た。それから何度も連絡を取り合い、最終的な日程と内容を固めていった。

11月10日、松浦とも子先生、柳坪幸佳先生、佐藤修先生の3人の講師が重慶に到着し、翌日から柳坪先生と佐藤先生がそれぞれ学部生向けに「新しい日本語能力試験の説明会」と、「アニメ・マンガの日本語講座」を開催した。学生たちは、大変充実した講座を楽しんでいた。もともと、日本語能力試験の説明会を主に3年生に、アニメ・マンガの講座は2年生を対象にしていたが、1年生や4年生、さらに修士課程の学生までが講演を聞きに来ていた。

そのほか、他校の本科生や重慶外国語学校(四川外国語学院附属中学)の日本語専攻の高校生も参加した。アニメ・マンガの講座では、学生たちの反応は大変大きく、会場は活発な雰囲気にあふれており、私は日本のアニメや漫画が中国の若者に与えている大変な影響力をあらためて感じた。

12日午前中、柳坪先生と佐藤先生が重慶の日本語教師を対象に、「中上級の読解の教え方」について講演を行い、午後は松浦先生より「中上級の作文の授業の教え方」についての講演があった。重慶で日本語専攻がある主な9校から、教師と大学院生が今回の研修会に参加した。その中でも、ホスト校の四川外国語学院が最も多く参加したほか、西南大学日本語学部の全教師と院生も、こぞで参加した。そのほか四川外国語学院と重慶師範大学の5名の日本人教師も参加した。いずれの参加者も非常に熱心で、講演者に対しても積極的に協力したり、活動したりするなど、活発な雰囲気を出すことができた。

研修会後に聞いた話では、多くの教師が私に対し、このような活動はとても素晴らしく、3名の講師の話も非常に面白くて収穫が大きかったので、今後も同じような活動を開催してほしいということであった。私個人としても、今回の講座によって、教授法に新しい考え方を取り入れることができたと思う。今回の読解と作文の教授法に続き、今後は聴解や会話、翻訳の教授法についての研修会もあると良いと思う。

重慶市は、長江の上流部に位置する盆地で夏の気温が非常に高いため、中国「三大火炉」之称。10年内经济增长速度均高于全国平均水平，是西南地区最大的工商业城市。

此次主办学校是“さくらネットワーク”据点校之一的四川外国語学院。“川外”是西南地区日语教育的中心，有悠久的历史，毕业生遍布整个地区。此次研修会也因此有56名教师参加，远远超过预期规模。

重庆日语教学传统悠久，教师经验丰富，教师们对于“自己该如何教学”展开了激烈的讨论，给我们留下了深刻的印象。

\*注：欢迎访问“さくらネットワーク”，网址如下。

<http://www.jpff.go.jp/j/japanese/network/>

## 2011年11月重庆日语教师研修会

四川外国語学院東方語学院：王宗瑜

2011年9月1日、系领导通知说北京日本文化中心在组织全国巡回的日语教师研修会，让我立即申请。遂于次日发出邮件申请承办重庆地区研修会，不久即接到日本文化中心的回复。在与日方专家佐藤修先生多次联系后最终敲定了具体的日程与内容。

11月10日、松浦友子、柳坪幸佳以及佐藤修3位讲师抵渝，次日由柳坪老师与佐藤老师分别为本科生做了“新日本語能力考试说明会”以及“动漫日语”讲座，同学们对讲座表现出了浓厚的兴趣。由于学生上课的关系，本来我们安排能力考试说明会主要面对3年级、动漫日语主要面向2年级，没想到还有不少1年级和4年级学生甚至研究生也来听了讲座。还有外校的本科生以及重庆外国语学校(又称川外附中)日语专业的高中生也赶来参加。在动漫日语讲座时段，同学们的反应异常活跃，会场气氛极其热烈，让我真正感受到了日本动漫在中国青年学生当中的巨大影响力。

12日上午，柳坪老师与佐藤老师为重庆的日语教师们做了“中高级阅读课教授法”的报告，下午则由松浦老师为大家讲授“中高级作文课教授法”。重庆地区9所最主要的培养日语专业人才的院校均派老师及研究生前来参加了研修会。其中除了川外有东道主之利出席人数最多之外，西南大学日语专业的全体教师与研究生也“倾巢而出”。参加研修的还有川外与重庆师范大学的5位日本外教。在研修会上大家非常认真，还积极与讲师配合、展开互动，营造出了—种极为热烈的课堂氛围。

在会后的私下交流当中，很多教师都对我说这次活动非常好，3位讲师讲得非常有意思，收获很大，希望今后能有类似的活动。我个人也感觉讲座为自己打开了一些教学方法上的新思路。希望继本次的阅读与作文教授法之后，今后能够有听力与会话以及翻译方面教授法的研修会。



国際交流基金  
北京日本文化センター  
中国・地域巡回教師研修  
2011

時間		内容		
11月11日 金曜	午後	14:00-15:30 1時間半	学生向け 「新しい日本語能力試験の説明会」	柳坪
		16:00-17:30 1時間半	学生向け 「アニメ・マンガの日本語」	佐藤
11月12日 土曜	午前	9:00-11:30 2時間半	教師向け 「中上級向け読解の教え方」	柳坪 (前半) 佐藤 (後半)
		昼休み		
	午後	13:30-16:00 2時間半	教師向け 「中上級向け作文の教え方」	松浦
			解散	



## 日本語教師研修会

重慶師範大学：田莎莎

重慶師範大学の日本語教師田莎莎です。可愛い生徒達を教えながら、重慶ふれあいの場の運営責任者を勤めています。日中の若者達の交流を深めるために設置された「重慶ふれあいの場」は国際交流基金の協力を得て、毎月日本からファッションやアニメ・マンガなど様々な雑誌、日本語教育関係の書籍、そして音楽CD・文化紹介DVDなど、盛り沢山のコンテンツを取り寄せています。「日本文化大好き」な方が多く訪れてくださって、毎月300人以上の来館者がいます。同時に、重慶ふれあいの場では日本語コーナーをはじめ、不定期に多種多様なイベントを行い、日中文化交流に関心のある中国人や日本人を招いており、それによって互いの理解を深めていければと願っています。

今回、北京日本文化センター主催の重慶日本語教師研修会に参加させていただき、非常に勉強になりました。実は前回も学生向けの新日本語能力試験説明会の件で大変お世話になりましたが、また日本文化センターの専門家達と再会できて、何よりの喜びです。短い時間ではありますが、専門家の先生達が面白く、そして丁寧に教えてくださって、研修内容もJF日本語教育スタンダードを始め、読解や作文など多方面に渡り、たくさんの教えを頂き、大変充実した有意義な一日を過ごすことができました。更に、研修会でのグループディスカッションなどを通して、普段なかなか会えない地元の日本語の先生同士の交流も活発になり、それを通じて今後当地域の日本語教育連携も一層深まるかと思えます。こうした交流の場を設けていただき、誠にありがとうございます。

来学期ちょうど初めて読解の授業を担当することになり、新米教師として心細いところがありました。が、研修会を受けて多くのパワーをもらいました。今後はもっと勉強して知識を蓄えるとともに、専門家の先生達のようにスムーズに、素敵な授業が行えるように日々研鑽していかなければと思っています。

## 日语教师研修会

重庆师范大学：田莎莎

大家好，我是来自重庆师范大学的田莎莎。我一边在大学里教可爱的学生们学习日语，一边作为重庆中日交流之窗的运营负责人开展工作。重庆中日交流之窗是在日本国际交流基金会的协助下成立的，旨在促进加深中日两国青年人交流的机构。每个月日本方面会寄来大量原汁原味的时尚、动漫、美食旅游等各种杂志，以及日语教育的相关书籍，另外还有原版的音乐CD，日本文化介绍DVD。丰富的资源吸引了众多爱好日本文化的中国民众和日本朋友到馆，我们每个月会接待300名以上的来访者。与此同时，重庆中日交流之窗还定期举行如日语角等丰富多彩的活动，邀请对中日文化交流感兴趣的中国人和日本人参加，期望借这些活动增进两国人民的相互理解和友谊。

本次能够参加北京日本文化中心举办的重庆地区日语教师研修会，感到非常荣幸且收获良多。上一次重庆中日交流之窗举行针对学生的新日本語能力测试说明会的时候，我们曾邀请日本文化中心的日语教育专家们来渝，给他们添了许多麻烦。这次能在研修会上重逢，感到无比高兴。本次研修会虽然时间不长，但日程安排紧凑，涵盖了JF日语教育标准，读解，作文等多方面内容，专家老师们授课风格生动活泼，讲解得十分详细。本次研修会让我获得诸多知识与启发，渡过了非常充实非常有意义的一天。

新学期伊始，我正好要担当日语泛读的课程，头一次教授这门课，作为新人坦率地说确实有些忐忑不安。不过参加过这次研修会后，感到内心充满了力量。今后我也要继续努力学习，在不断累积知识的同时，不断钻研磨练，争取有一天能像日语教育专家老师们一样在课堂上创造更多的精彩。



# 長春日本語教師研修会

日程：2011年11月15日(火)・16日(水) 会場：吉林華橋外国語学院

研修参加校：吉林華橋外国語学院日語系(主催)、吉林華橋外国語学院双語学院、東北師範大學人文學院、東北師範大學外國語學院、東北師範大學中國赴日本國留學生預備學校、長春市山崎外語培訓學校、長春大學、長春大學光華學院、長春大學旅遊學院、吉林財經大學、長春職業技術學院、吉林建築工程學院城建學院、長春中醫藥大學、吉林大學外國語學院、長春理工大學、長春工業大學(計16校142名)

吉林省長春市は、27の国公立大学を含む多くの科学技術研究機関を持つ研究学園都市です。はっきりとした四季を持ち、気候も過ごしやすいことから、「北国春城」とも呼ばれています。自動車産業が最大の製造業であり、日本の有名企業の合弁会社もあります。

研修会当日の11月15日16日は雪が降り、夜間は最低気温が零下13度まで下がりました。しかし16校から140名以上の方が集まってくださった研修会は、降り積もった雪を溶かすほどの熱気に包まれました。そのように盛大に研修会を開催できたのはすべて、主催校である吉林華橋外国語学院の皆様と、長春日本人教師会のご協力のおかげです。

## 日本語教師研修会の感想

吉林華橋外国語学院日本語学部：王尤

本科の日本語教育が始まって10年になるが、教学レベルの向上のため、本校では日本語教師をこれまで外に派遣して研修を受けさせてきた。しかし、経費等の理由から人数には限りがある。今回北京日本文化センターの専門家が指導をするという知らせを受けてすぐに希望を出した。開催の条件は最低三校以上の学校が参加すること。この条件について私たちは相談し、長春日本人教師会と協力することによって、なるべく多くの日本語教師と機会を共有することに決めた。

専門家の旅費や聴講費も不要であるし、通常の授業や業務に影響も出ずに、最も権威のある日本語教育専門家の直接指導を得ることができる。このような素晴らしい機会は140人余りの市内の大学や日本語教育機関の日本語教師を我が校に引き寄せた。

私個人は日本語の多読の授業を長年担当しているが、今回の日程では読解の教え方があり、私は非常に期待をよせていた。学生を積極的に参加させ、授業を活発にする・・・専門家のモデルにははっとさせられた。学生の読む能力を育てるためにディスカッションで可能だとは！研修会後、私はすぐに多読の授業にこの方法を取り入れた。同じような内容でも、やり方一つ変えてみるだけで、学習効果が魔法のようにとてつもない変化を起こすものなのだ。

研修後の交流会では、参加した教師の意見交換もとても活発なものになった。私は現在多くの日本語教師が私と同様に、専門家から得た貴重な経験を日常の授業に取り入れているのではないかと思う。

今回の研修は教師に限らず、学生にとっても、得たものは少なくない。我が校の地球村で、日本のアニメや漫画が好きな学生が、専門家と一緒にアニメや漫画のさまざまな役割設定の人物のセリフを抑揚をつけてマネをするということをやった、会場から大きな笑いが起きた。学生の真に迫った日本語のセリフは、日本の伝統文化を設計テーマとしている地球村に新しい日本文化の風を吹き込んだ。

数多くの日本語教師の参加により、今回の研修会は長春市の日本語教師がともにレベルアップし、知り合うことのできる、良好な機会となった。日本語のコンテストや学生募集などでは競争相手ではあっても、研修会では専門家の先生方と一緒に交流し、非常に打ち解けた雰囲気だった。本校は今後も毎年国際交流基金の専門家をお呼びし、長春の日本語教師に研修会の機会を提供し、長春市の日本語教育のレベルを引き上げたいと考えている。なぜなら、これらは日中友好を担う学生達にとって大切なことであるからだ。

吉林省長春市有27所公立大学、有众多科学技术研究机构。四季分明，气候宜人，有“北国春城”之称。汽车产业是该地区最大的制造业，有众多中日合资企业。

研修会在11月15日16日举行，气温很低，下了雪，夜间最低气温有零下13度。但是，依然有来自16所学校的超过140名教师参加了研修会，现场气氛的热烈程度足矣融化积雪。能够举办如此规模的盛会，我们十分感谢举办校吉林華橋外国語学院以及長春教師會的協助。

## 日语教师研修会有感

吉林華橋外国語学院日語系：王尤

开始本科日语教育已经十年，为不断提高教学水平，我校常派教师出差学习。但由于经费等原因人数有限。当得知日本国际交流基金会北京日本文化中心的专家愿意登门赐教，我们立刻发出了邀请。三所学校的参与是邀请条件之一，我们讨论决定和长春市日本人教师会合作，让尽可能多的日语教师和我们机会共享。

无需差旅费和听讲费，又不会影响到正常教学工作，却能得到最权威的日语教育专家的面授。这么好的机会，吸引了一百四十余位日语教师从市内各大高校和日语教育机构汇集到我校参加这次研修会。

我个人担当日语泛读课多年，这次会中读解方面的指导，是我重点期待的内容。解放学生，让课堂“活”起来——专家老师的示范，使我恍然大悟。原来培养学生“读”的能力，也可以用讨论的方式做到！会后，我立刻把得到的启发融入泛读课中。同样的内容，换一种方式导入，学习效果魔法般地发生了巨大的变化。

研修后的交流会上，参加学习的教师们意见交换十分热烈。我想现在一定有多数的教师像我一样已经把研修会上从专家老师那得到的宝贵经验运用到日常授课中去了。

这一次研修会，受益的不但有教师，还有学生。在我校地球村里，日本动漫迷的学生们跟着专家老师模仿动漫中不同身份的人物的日语，情绪高涨，欢笑声此起彼伏。师生们惟妙惟肖的卡通日语为以传统文化为设计主题的地球村增添了时尚新潮的日本文化特色。

由于众多日语教师们的共同参与，使这一次的研修会成了长春市日语教师共同提高、互通有无的良机。在日语大赛及招生等方面本是竞争对手的教师们，在研修会上跟着专家老师相互交流共同进步，气氛十分融洽。我校争取今后每年邀请国际交流基金的专家老师赐教，为长春市的日语老师提供参会的方便，使长春市的日语教育水平更上一层楼。因为我们深深知道，这一切，受益的是将要背负中日友好重任的殷殷学子们。





# 国際交流基金 北京日本文化センター 中国・地域巡回教師研修 2011

時間		内容			
		A班	B班		
11月15日 火曜	午後	14:00-16:30 2時間半	教師向け 「中上級の読解 の教え方」	教師向け 「中上級の聴解 の教え方」	松浦 (聴解、理論 90分) 柳坪 (聴解、実践 60分) 佐藤 (読解)
		17:00-18:30 1時間半	学生向け 「アニメ・マンガの日本語」		柳坪
11月16日 水曜	昼休み				
	午後	13:30-16:00 2時間半	教師向け 「中上級の聴解 の教え方」	教師向け 「中上級の読解 の教え方」	松浦 (聴解、理論 90分) 柳坪 (聴解、実践 60分) 佐藤 (読解)
			解散		



## 長春日本語教師研修会の感想とこれからの長春

長春日本人教師会会長：  
水戸貴久（東北師範大学人文学院）

私たち長春日本人教師会は、日中両国の友好を目標とし、中国の日本語教育の発展、中国人日本語学習者と日本を結びつけることを目的とした有志の組織です。日々の学びや問題意識を共有し情報交換を行うため、月に一度の勉強会を2000年から継続してきました。また、国内外の支援をいただき、中国の若者と日本の若者をつなげ、広く日本を知ってもらおう活動を行っています。

今回、国際交流基金北京日本文化センター、吉林華橋外国語学院と合同で長春日本語教師研修会を開催し、研修が終わった今、二つのことを感じています。一つ目は、長春にある多くの学校の中国人教師、日本人教師の交流の場となったことです。日本人教師会では月に一度の勉強会を行っているのですが、まだまだ規模が小さく、普段交流のない中国人の先生方も少なくありません。今回の研修会では140名を超える教師が集まり、顔を合わせたことには大きな意味があったと感じています。今回の出会いをきっかけに、同じ志を持った方たちとの協力の輪を広げていければと思っています。

二つ目は、普段感じている問題を多角的に捉えることが出来たことです。国際交流基金の2009年の調査にもありますが、中国で教えている中国人・日本人教師は必ずしも日本語教育を専門的に学んでいない場合があります。また、仕事の中で浮かんできた問題に対してアプローチの仕方が分からないこともあると思います。しかし、今回の研修で得られたことを私自身授業に活かすことが出来ましたし、同僚からも得られるものが多かったという声を聞きました。

長春という地は、日中両国の歴史の中で深い意味を持つ場所です。その長春に今、同じ目的を持った中国人教師、日本人教師が集まったことは、現在の長春を象徴しているのではないのでしょうか。これからもこの地は、現在、未来の日本語教育を支え、発信していく場所でありたいと思っています。

## 長春日语教师研修会感想及未来的长春

長春日本人教師会会長：  
水戸貴久（東北師範大学人文学院）

我们长春日本人教师会以中日两国友好为目标，是以促进中国日语教育，加强中国日语学习者同日本之间联系为目标的有志组织。为了将日常学习和问题意识共有分享，我们从2000年起每月举行一次学习会。此外，在国内外帮助下联系中日青年，举办深入了解日本的活动。

本次日本国际交流基金会北京日本文化中心协同吉林华桥外国语学院举办了长春日语教师研修会。从研究会结束至今，我有以下两个感想。首先，这次研修会为长春诸多学校的中国教师和日本教师的交流创造了条件。平时日本人教师会虽然每月举办一次，但是规模不大，平时交流很少的中国老师也来的不多。这次的研修会聚集了140多名教师，同他们见面我感到收获很大。此次见面让更多志同道合的人相聚一堂。

第二点是平时想到的问题可以从多角度来思考。在2009年日本国际交流基金会的调查中显示，在中国授课的中国人、日本人教师不一定是日语教育专业毕业的。此外，在工作中出现的问题有时想不出对策。但是，这次的研修我们学到了很多对自己授课有用的知识，从同事身上也学到了很多。

长春在中日两国历史上有重要意义。现在的长春的特征可以说是众多怀有相同目标的中国人教师、日本人教师云集的地方。以后这片土地也将是支撑未来日语教育，创造沟通和联系的场所。



# 青島日本語教師研修会

日程：2011年11月18日(金)～19日(土) 会場：中国海洋大学

研修参加校：中国海洋大学(主催)、青島大学、青島大学师范学院、青島理工大学、青島农业大学、青島科技大学、青島工学院、青島滨海学院、青島華興日本語専門学校(計9校68名)

青島は山東省南部の都市、海辺のリゾート都市としても有名、ドイツの街並みのようなオレンジ色の屋根の家、そして青島ビールでも有名です。

研修会には中国海洋大学、青島大学、青島理工大学、青島農業大学、青島華興日本語学校など9校から、68名が参加してくださいました。主催校である中国海洋大学は、1996年に第一期の学部生を迎え、現在は青島の日本語教育の中心的役割を担っています。

今回は在青島日本国総領事館の平木場総領事もお越しになり、研修の様子を見てくださいました。今まで地域での研修会がなかったということで、これがきっかけとなって続いていけばいいなあという先生方の声を多く聞きました。「次はうちの学校でやってください」というリクエストも受けました。

## 青島日本語教師研修会に参加して

中国海洋大学：王文賢

2011年11月18日と19日の2日間に渡り、私の所属する中国海洋大学外国語学院で北京日本文化センターの松浦とも子先生、佐藤修先生と柳坪幸佳先生という3人の講師による青島地域日本語教師研修会が行われました。

18日は学生向けの「アニメ・マンガで学ぶ日本語」と「日本語能力試験(JLPT)説明会」という2つの内容でした。日本の漫画・アニメに興味を持っている学生が多いのですが、今回の講座を通じて、言葉の微妙な使いわけや生き生きした擬声語と擬態語の使い方に気づきました。また、JLPT説明会で、新しい日本語能力試験で読解力と聴解力がそれまで以上に重要視されるようになったことなどが分かりました。

19日は教師向けの「JF日本語教育スタンダード・会話の教え方」と「読解の教え方」という2つの内容でした。青島地域にある8つの大学と1つの日本語学校から68名の日本語教師が今回の研修会に参加しましたが、ほとんどの人にとって教師研修会参加は初めての経験だったので、大変期待していました。「JF日本語教育スタンダード」の背景や内容などは初めて聞いたもので、新鮮でした。そこで、日本語学習は何かのタスクができるというcan-doが目標であることが分かりました。そして、教師として目標達成のためにどのようにすればいいのか考えさせられました。「会話の教え方」では、研修参加者の模擬会話活動を見て、中国人教師でも上手に学生同士の力を発揮すれば、楽しく会話の授業ができるということを理解しました。今回の研修会で特に「読解の教え方」でたくさん学べました。インフォメーションギャップの利用によって工夫された読解授業の活動を体験しました。今後、読解授業の活動を工夫するのにたいへんいい勉強になりました。

このように、今回のような研修会は多くの参加教師にとってとても有意義でした。きっと研修会で学べたことを自分たちの教え方に生かせると思います。

青島市位于山东省南部，是著名的避暑胜地，德式街道上密布着橘黄色的房屋，此外，青岛啤酒也久负盛名。

研修会有来自中国海洋大学、青島大学、青島理工大学、青島农业大学、青島華興日本語学校等9所学校的68名同学参加。主办校中国海洋大学1996年开始接收第一批日语学生，现在担负着青岛地区日语教育的重任。

此次，日本国驻青岛总领事馆平木场总领事也到此观看了研修会场景。很多教师都反应以前在地方的研修会很少，希望今后这样的研修会可以持续下去。我们还收到了以后在此地学校举办研修会的邀请。

## 参加青島日语教师研修会之印象

中国海洋大学：王文賢



2011年11月18日、19日两天，中国海洋大学外国语学院邀请了北京日本文化中心的松浦友子老师、佐藤修老师和柳坪幸佳老师3位日本专家举办了青岛地区的日语教师研修会。

18日下午，3位专家给青岛各高校的大学生做了主题为【动漫日语】的讲座，并做了【日语能力测试说明会】。很多学生喜欢并常看日本漫画、动漫，听了这次讲座，大家明白了通过看日本漫画、动漫可以弄清一些日语表达的微妙差别并学会很多生动的日语拟声词拟态词的用法。通过这次日语能力测试说明会，学生们了解到新的日语能力测试比以往更重视考察读解和听解能力。

19日的研修内容是面向教师的，有【JF日本教育标准·会话的教法】和【读解的教法】两部分内容，来自青岛地区的8所高校和1所日语语言学校的68名日语教师参加了本次研修会，大部分教师是第一次参加这样的研修会，所以抱有很大的期待，在研修会上第一次听到日本国际交流基金制定【JF日本教育标准】的背景及其内容，感觉很新鲜，明确地认识到日语学习是以完成某些任务为目标的，并就为了达到这样的目标教师应该采取的教学方法进行了思考。在【会话的教法】的互动活动中，参加研修的教师作了情景模拟会话，通过体验和参观这样的会话活动，教师们认识到只要巧妙地发挥学生们的力量，中国教师同样可以把会话课上得轻松愉快。在这次研修会上，我们也学到了很多读解课的授课方法，比如，教师们体验了小组成员之间利用信息差(Information gap)来进行的小组互动活动，这些体验对今后改善读解课授课方法起到了重要的作用。

这次研修会对很多日语教师来说具有重要的意义，相信大家一定会把在研修会上学到的东西利用在各自今后的教学中。

国際交流基金  
北京日本文化センター  
中国・地域巡回教師研修  
2011

時間		内容		
11月18日 金曜	午後	15:00-16:30 1時間半	学生向け 「アニメ・マンガの日本語」	佐藤
		16:40-17:30 1時間50分	学生向け 「新しい日本語能力試験の説明会」	柳坪
11月19日 土曜	午前	9:00-10:00 1時間	教師向け 「JF日本語教育スタンダード」	松浦
		10:10-11:40 1時間半	教師向け「会話の教え方」	
	昼休み			
	午後	13:30-16:00 2時間半	教師向け「読解の教え方」	柳坪(前半) 佐藤(後半)
			解散	



## 日本文化センターの 専門家の講座を聞いて

中国海洋大学日本語学科2年生：許靖怡

先生の講座を聞いて、強く印象を受けた。アニメと漫画で生の日本語を学ぶことができるのだと思った。アニメと漫画のおかげで、言葉の学習意欲が高まるとともに、学習効果も高まるだろう。おそらくそれは楽しんで学べばよく覚えられるということだろう。テキストやテストではなく、アニメを見たり、漫画を読んだりすることで、目に見えない何かが自然な雰囲気を作り、楽しみながら自然な言葉をうまく身につけられれば素敵ではないだろうか。それに、言葉を通じてアニメと漫画の製作者が伝えたい世界観に自分なりの感想を抱けるようになれば、それも言葉の学習の一環だと思う。

「言語は手段であるだけではない」

私は日本語を選ぶ時、日本語そのものに興味があって日本語学科を選択したというより、むしろ日本語を通じて、何か自分が強い関心を持っていることに触れたいと思って、日本語学習を始めた。今ではもう二年になった。アニメは見れば見るほど好きになり、漫画は読めば読むほど好きになり、それと同時に日本語も勉強すればするほど夢中になってしまった。アニメと漫画で得られたこと（たとえば仲間意識とか正義感とか前向きな気持ちとか）は日常生活の中で非常に役立っていて、そのことを素晴らしいと思っている。私にとって、それこそが言葉の学習をする意味だ。

生活の全般にわたっていろいろな挑戦が行われているように、日本語の学習も挑戦の連続だろう。意志が堅くないとなかなか続かないだろうし、うまく使えるようになるには人一倍の努力が必要であろう。「夢に向かってチャレンジする時に、どんなに苦しくても勇気を失うことはなかった」それは私がアニメと漫画から習ったことだ。主人公と一緒に強い向上心を持って成長しようと思う。

## 听日本文化中心 专家讲座感想

中国海洋大学日语专业二年级：许靖怡

专家的讲座给我留下了深刻的印象。我认为可以通过动画和漫画学习日语。因为喜欢动画和漫画，我学习其语言的欲望很强烈，学习的效果也很好。这就是所谓的快乐学习就会容易记住吧。不是通过课本、测验，而是通过看动画和漫画，在轻松的环境中一边快乐着一边自然地学习日语，这不是一件很美妙的么？此外，我认为通过语言了解动漫和漫画创作者想要传达的世界观并有自己的感想，也是语言学习重要的一环。

“语言不仅仅是一种手段。”

我选择学日语不仅仅是因为对日语本身有兴趣，更是因为想通过日语接触了解自己十分关心的东西。怀着这样的想法我开始学习日语，至今已经有两年了。我越来越喜欢看动画，越来越喜欢读漫画，越来越喜欢学习日语了。在动画和漫画中学到的东西（例如朋友观念、正义感、向上的精神等）在日常生活也起到了十分重要的作用。对于我来说这就是学习语言的意义。

正像在生活中要面对许多挑战一样，日语的学习也要面对接连不断的挑战。如果意识不坚定就可能坚持不下去，为了能够熟练使用更要付出比别人加倍的努力。“在追逐梦想的途中，不会因为遇到挫折而丧失勇气。”这是我从漫画和动画中学到的东西。我要同主人公一样积极向上，不断成长。



# 合肥日本語教師研修会

日程：2011年11月25日(金)・26日(土) 会場：安徽農業大学

研修参加校：安徽农业大学(主催)、安徽大学、安徽师范大学、安徽工程大学、淮北师范大学、合肥学院、黄山学院、阜阳师范学院、淮南联合大学、安徽三联学院、安徽外国语学院、中澳科技职业学院、安徽新华学院、万博科技职业学院、马鞍山师范高专、安徽国际商务职业学院、合肥师范学院、合肥工业大学、安徽医科大学、安徽理工大学、滁州学院、安徽城市管理职业学院(計22校77名)

安徽省は中国東部に位置する内陸の省です。湖や川、世界遺産の黄山など自然に恵まれた安徽省ですが、上海から距離が近く、特に高速鉄道が開通してからは短時間で省都・合肥から上海への移動が可能になりました。この地の利を生かし、合肥およびその近辺には日系企業をはじめ多くの企業や工場ができ、急ピッチで開発が進められています。

安徽省の大学の日本語学科は設立10年未満の新しい機関が多く、教えている先生方も20代、30代の先生が中心です。今回の地域巡回研修には22校から77名の先生が参加してください、熱心に話し合う姿が見られました。

主催校となった安徽農業大学は、以前も青年海外協力隊の隊員と一緒に研修会を企画するなど、新しいものを取り入れようという気持ちに満ちています。他の大学の先生方とも仲が良く、いろいろ一緒に企画をされているようで、ここからいろいろなことが始まっていけばと感じました。

## 日本語教師研修会

安徽農業大学：王磊

2010年4月、国際協力機構(JICA)青年海外協力隊派遣の清水美帆さんが連絡調整をして、国際交流基金北京日本文化センター(以下「センター」)が安徽農業大学で新しい日本語能力試験の説明会を開催した。その時、約30人の日本語教師と300名以上の学生が参加した。佐藤修専門家のすばらしい講演は、会場の全員に深い印象を与えた。

このため、2011年9月にセンターから「地域巡回教師研修会」開催のお知らせを受けたとき、すぐに今回の研修会を主催したいと考えた。センターからの承諾を受け、本校の日本語教師全員が積極的に開催準備にあたった。安徽省における日本語教育の歴史は比較的浅く、多くの日本語教師が教学レベルの向上を強く望んでいる。私たちは、今回の研修会の対象は合肥市にかぎらず、安徽省を対象にして、より多くの教師にこのような機会が与えられるべきだと考えた。そこで、省内の大学日本語教師に開催案内を送付した。準備は大変だったが、今後の安徽省の日本語教育の発展にとってその意義は非常に大きいことである。

2か月間あまりの多忙な準備期間を経て、11月26日、安徽省の22大学から80名近い日本語教師が安徽農業大学での研修会に集まり、予定通りに開会した。

佐藤修、柳坪幸佳専門家がそれぞれ、「中上級における日本語の教え方」と「読解の教え方」について、講演を行った。専門家は、教学目标の設定、教学手段の運用、評価基準の設定について詳細な説明をし、参加した教師は教学活動の経験について意見交換をし、非常に効果的な成果をおさめた。今回の研修会の成功により、我が省の日本語教師の教学レベルの向上と、各大学の日本語教師の交流にとって良い影響を与えることができたと思う。

そのほか、期間中、専門家は学生向けにも「新しい日本語能力試験の説明会」や、「アニメ・マンガの日本語講座」の講演を行ったほか、当地の大学訪問や、訪日研修に参加した日本語教師との座談会も行った。期間は決して長くはないが、2名の専門家の活発な講演と効率良く仕事へ取り組む姿をみて、私たちが得たものは少なくなかった。私たちはこのような研修会が頻りに継続して開催されていくことを強く願うとともに、センターが今後も、安徽省のように日本語教育が比較的まだ立ち遅れた地域において、文化交流活動、展覧会、茶道や能楽、歌舞伎などのイベントをより多く開催してくれることを期待している。そうすれば、日本語学習者の学習熱、ひいては中国人の日本文化に対する理解も高まると思う。

安徽省位于中国东部，是内陆省。安徽省湖川众多，有世界遗产黄山，毗邻上海，高铁开通后可以在短时间内从省都合肥到达上海。合肥及其周边地区以日本企业为代表，企业、工厂众多，地区得到了快速开发。

安徽省的大学中，日语系设立不足10年的年轻机构众多，授课教师以年轻教师居多。此次地域巡回研修有来自22所学校的77名教师参加，进行了充分的交流。

主办校是安徽农业大学，以前曾作为青年海外协力队成员与我们一起进行研修会的企划，乐于学习新鲜事物。主办校教师和其他学校教师关系融洽，共同企划，我们认为这是一个良好的开端。

## 日语教师研修会

安徽农业大学：王磊

2010年4月，通过日本国际协力机构青年海外协力队派遣教师清水美帆女士的联系，日本国际交流基金会北京日本文化中心(以下简称：中心)在安徽农业大学举行了“新日语能力考试说明会”，有30余名日语教师和近200名学生参加。会议期间，日语教育专家佐藤修的精彩演讲，给大家留下了深刻的印象。

因此，2011年9月，当我们收到中心举办“地域日语教师研修会”的通知时，立即萌发了主办此次研修的愿望。在获得中心许可后，我校日语系全体教师积极地投入研修会的筹备工作。考虑到安徽省日语教育起步较晚，广大教师对提高教学水平的愿望都很强烈。我们认为：研修对象不仅要面向合肥，更应该扩大到全省，让更多的教师获得这样的机会。于是，向全省高校日语教师发出了邀请函。这虽然加大了筹备难度，但对今后安徽日语教育的发展却意义非同寻常。

经过两个多月的紧张筹备，11月26日，安徽省21所高校近80名日语教师齐聚安徽农业大学，研修会如期召开。佐藤修、柳坪幸佳两位日语教育专家分别做了“中高级阶段的日语教学”和“阅读课教学法”专题报告。专家对教学目标设定、教学手段运用、评价标准制定等进行了详细解说，参会教师对各种教学活动形式进行了实际体验，并互相探讨交流，取得了良好的效果。此次研修会的成功举办，对于我省日语教师教学水平的提高和各高校日语教师间的交流起到了积极的推动作用。

此外，在合肥期间，专家们还面向学生举行了“新日语能力考试”和“动漫日语”的讲座，实地走访了部分高校，并与参加过赴日研修的教师进行了座谈。短短几天，两位专家生动活泼的讲课方式、严谨高效的工作态度使我们受益匪浅。我们衷心希望这种研修能够经常开展并持续下去。同时，也期望中心今后能在安徽这样日语教育相对落后的地区多举办一些文化交流活动，如各种展览、茶道表演及能乐、歌舞伎演出等，以提高日语学习者的学习热情和加深中国民众对日本文化的了解。



国際交流基金  
北京日本文化センター  
中国・地域巡回教師研修  
2011

時間		内容		
11月25日 金曜	午後	15:00-16:30 1時間半	学生向け 「アニメ・マンガの日本語」	佐藤
		17:00-18:30 1時間半	学生向け 「新しい日本語能力試験の説明会」	柳坪
11月26日 土曜	午前	9:00-11:30 2時間半	教師向け「中・上級の教え方」	柳坪
		昼休み		
	午後	13:30-16:00 2時間半	教師向け「読解の教え方」	佐藤
			解散	



## 日本語教師研修会

安徽農業大学：齋藤郁恵  
青年海外協力隊（平成23年度2次隊）

中・上級の授業は初級に比べて単調になり易く、また学生のレベルの差も大きいので、どのように行うのが効果的なのかいつも悩んでおりました。今回の研修で「課題遂行を授業の中に意識的に取り入れる」という考え方と、その具体的な方法をいくつか学べたことが大変良かったです。さっそく研修後の授業で教えていただいた方法の1つ（ジグソーリーディング）を試してみたところ、学生たちはとても楽しんで活動を行っていました。今後も一方的に教師から与える授業ではなく、学生たちが意欲的に取り組めるような授業を目指し、色々な方法を取り入れて行きたいと思います。

中国の大学で働く日本語教師は横の繋がりがあまりないため、それぞれが良いものを持っていてもそれをお互いに共有して高めあうという機会が持てていないように思います。今回の研修では教授法を学んだだけではなく、それを安徽省内の日本語教師陣全体で共有できたことが何よりも大きな成果だと感じております。

安徽省の日本語教育の始まりは他の省と比較すると決して早いとは言えないようですが、だからこそ省内の日本語教師全体が今後の安徽省の日本語教育の発展を願って、お互いの連携強化の必要性を感じているところだと思います。現在合肥市内の日本人教師会には約30名の参加者があり、不定期ではありますが食事会や勉強会を開いて交流を行っています。中国人日本語教師の方にも参加してもらうこともあり、今後も参加人数は増えて行く予定です。また合肥市内の教師が集まって教科書作成を行うといった活動も行われています。このような活動が合肥市内だけではなく、今後は安徽省全体に広がっていったらとても大きな力になるのではないかと感じています。その始まりとしても、今回の研修会はとても大きな意味があったと思います。

私が青年海外協力隊員としてここに滞在している2年の間に、より安徽省内教師陣の繋がりが深められるよう、今回の研修会のような全体で集まる場を積極的に作っていきたいと思います。

## 日语教师研修会

安徽农业大学：齋藤郁恵  
日本青年海外協力隊



中・上級の課程与初级课程相比单调简单，而且学生们的水平差异也很大，因此我一直都很苦恼怎样上课效果才会更好。在这次的研修中，学习了“在课堂上自觉地完成课题”思考方式及几种具体方法，感觉非常不错。研修课后，我迫不及待地尝试了课堂上学到的一种方法（Jigsaw Reading），学生们都非常愉快地参与了活动。我想在今后的课堂上，不光是教师单方面地传授知识，而是更应该为了提高学生的学习兴趣，将各种各样的授课方法运用到课堂上。

中国的大学里日语教师因为缺少交流，虽然各有所长但没有机会互相学习共同提高。在这次的研修不仅仅让我们学习了教授法，让安徽省内所有的日语教师共享这种教授法才是这次研究会最大的成果。

安徽省的日语教学与其他省份相比绝不算早，因此省内全体日语教师为了安徽省今后日语教学的发展更有必要加强相互之间的合作。现在合肥市内的日本人教师会有约30名成员，不定期举行聚餐、学习会等交流活动。也有中国人日语教师参加，今后人数还会不断增加。此外，也进行了合肥市内教师集体编写教科书的活动。类似的活动今后不仅在合肥市，在安徽省其他地区也会大力开展。这次的研修会作为开端有着重大意义。

我作为青年海外协力队成员在此地两年间，将密切安徽省内教师联系，积极创办像此次研修会一样能聚集大家的场所。

# 大連日本語教師研修会

日程：2011年12月10日(土)・11日(日) 会場：大連外国語学院

研修参加校：大連外国語学院、大連交通大学、大連交通大学软件学院、大連交通大学信息工程学院、大連交通大学培训中心、大連大学、大連工业大学、大連工业大学职业技术学院、大連海事大学、大連理工大学、大連理工大学城市学院、大連医科大学、大連东软信息学院、大連职业技术学院、大連海洋大学、大連艺术学院、大連软件学院、大連翻译学院、东北财经大学、辽宁对外经贸学院、辽宁师范大学、山东省文登师范学校、大連日本語教師会(28機関に所属、上述機関とも一部重複)(計42校268名)

遼寧省大連市は経済的に日本との関わりが強い街です。海に面しており、貿易、工業、そして観光都市としても栄えています。日系企業も多く、製造業からソフトウェア開発、コールセンターまで、様々な企業が大連に進出しています。日本語教育は中等教育・高等教育ともに非常に盛んです。また、企業内で社員に日本語研修を実施している会社や、民間の語学学校も多くあります。

今回の主催校である大連外国語学院は学習者が多い大連地域の中でも最大規模の大学です。2011年現在、81名の専任教員、3260名の学部生、そして176名の大学院生が在籍しており、これはまさに「世界一」の規模と言うことができるでしょう。

この大連地域に、今回は268名もの先生が集まり、熱心に参加してくださいました。日本との関わりも深い大連。この地域での日本語教育の展開がますます楽しみです。

## 日本語教師研修会

大連外国語学院：宮偉

国際交流基金北京日本文化センターから郵便物が届いた。日本語教育の専門家による日本語教師研修会を申請すれば無料でやってくれるという内容だった。これだ、待ってました！と大喜び。

大連外国語学院日本語学院の教務担当者である私は、実は校内でも小規模ながら教授法に関する研修会を何回かやった。3200人もある日本語学院には、ここ10年間ぐらい若手教員が急増している。日本語学習人口が多い大連地域にある他大学も同じ状況にあるのではないだろうか。日本語教育のレベルアップを図るなら、まず教授法からやるのが一番効率的。が、自分の力だけではどうしても限界があると悩んでいたところ、国際交流基金からこんな案内が来るなんて、まるで棚から牡丹餅の感じだった。

さっそく大連地域の大学を対象に、研修会の案内状を出してみたら、何と200人以上も応募してくれ、国際交流基金を悩ませるのではないかと心配していた。

研修会当日は、200人以上も入る合同教室は人でいっぱい。研修会には、年配の教授も、日本人教員も多数来てくださって、本当に感動した。12月という真冬だったが、日本語教育専門家による熱演と、研修生たちの熱意で、会場は熱気に包まれて、真冬の寒さどころか、暑くさえ感じられた。研修会は、三名の専門家による一方通行的な教え込みではなく、実際みんなでやり方を考えながら、検討しながら進められていって、研修生たちにとっては新鮮味にあふれ、充実した内容のものとなった。普段教壇に立つ日本語教師たちであるが、二日間ぐらい学生気分勉強して、みんな大満足。が、不満もたくさん出た。「こんな研修会をもっと早くやってくれればよかったのに!」、「2日間だけじゃ、時間が足りない!」、「教材作成などを研修内容に入れたら?」、などだった。

国際交流基金、どうもありがとう!

松浦とも子先生、柳坪幸佳先生、佐藤修先生、どうもありがとう!

また大連でお会いしよう!

辽宁省大连市无论在地理位置上还是经济上都与日本关系密切。临海城市，是著名的贸易、工业、旅游城市。日本企业众多，从制造业到软件开发、煤炭中心，很多大企业都到此地设立分公司。日语教育在中学、高中、大学都很兴盛。此外，还有众多教授日语的企业和民间语言学校。

此次主办校大連外国語学院是在学生众多的大連地区中模最大的大学。2011年有81名在职教师，3260名本科生，176名研究生，这大概可以称作“世界第一”的规模。

在大连地区，有268名日语教师积极参加了此次活动。大連同日本关系紧密，日后日语教育会在此地得到更好的开展。

## 日语教师研修会

大連外国語学院：宮偉

办公室转来了一封邮件，是日本国际交流基金会北京日本文化中心寄来的。打开一看，我不禁大喜过望，日本国际交流基金会居然可以免费派遣日语教育专家到中国各地区做日语教学法的培训。



作为大連外国語学院日本語学院的教学负责人，此前我也邀请校内专家做过几次小规模的教学法方面的讲座。日本語学院有3200多名本科生，伴随着学生的增多，近十年来新进了许多缺乏教学经验的年轻老师。而在日语学习者众多的大連地区，其他高校也存在同样的问题。我认为，要想提高教学质量，最有效的途径便是对教师进行教学法的培训。然而，仅凭各校自己的力量毕竟有限。可以说，日本国际交流基金会的这一举措，对于我院及大連其他高校来说无异于一场及时雨。

接到邮件后我马上组织人给大連市各高校日语专业发通知，没想到反响强烈，居然有200多人报名，反倒令我有几担心人数是否过多。

大連地区日语教师培训会的当天，可容纳200余人的大教室座无虚席，学员中也不乏老教授、日本外教们。12月正是大連最冷的季节，但是培训专家们讲得热情洋溢，学员们听得激情澎湃，教室里热气腾腾，丝毫感觉不到严冬的气息。培训会并不是专家们填鸭式的单方面讲授，而是让大家结合实际教学场面，分组讨论、共同探讨，内容充实而又生动活泼。学员们平时都是站在讲台上的教师，培训的两天却重温了做学生的感觉，大家都很兴奋。对于两天的培训，大家都非常满意。当然，也并不是没有不满。很多人抱怨说：“这样的培训早就该搞了”、“2天的时间，太少了”、“是否还可以在讲座的内容中加入教材的编写”，等等。

让我们对日本国际交流基金会表示感谢!

让我们对松浦友子、柳坪幸佳、佐藤修等三位日语教育专家表示谢意!

让我们期待着在大連的重逢!

国際交流基金  
北京日本文化センター  
中国・地域巡回教師研修  
2011

時間		内容			
12月10日 土曜	午前	9:00-11:30 2時間半	教師向け「初級の教え方」		柳坪
	昼休み				
		17:00-18:30 1時間半	教師向け「中上級の教え方」		松浦
12月11日 日曜	午前	9:00-11:30 2時間半	教師向け 「作文の教え方」	教師向け 「読解の教え方」	松浦 (作文) 佐藤 (読解)
	昼休み				
	午後	13:30-16:00 2時間半	教師向け 「会話の教え方」	教師向け 「聴解の教え方」	柳坪 (会話) 佐藤 (聴解)
			解散		



## 大連日本語教師研修会に参加して

大連日本語教師会会長：谷口恵

### 1. 今回の研修に参加して

2011年12月大連外国語学院で開催された「大連日本語研修会」に大連日本語教師会から私を含めて約30名が参加しました。北京日本文化センター主催の研修に教師会として参加したのは1月の佐藤先生のワークショップに続き、2回目です。

今回の研修会は2日間にわたり、6つのテーマを学べる充実したプログラムでした。自分が学ぶ立場になり学習者の気持ちになれたこと、講義内容を聞きながら自分の授業を「振り返る」ことができたこと、ワークやグループ・ディスカッションで「気づき」を得られたことが、私にとって大きな収穫でした。また、各講師の講義テクニックを生で見ることができる、これも研修会に参加する大きな魅力だと思いました。

### 2. 大連日本語教師会紹介

大連日本語教師会は、「大連市の日本語教育に貢献すること」を目的として2000年に設立されました。設立時は日本人教師28名でしたが、現在の会員数は日中あわせて約160名にまで増えています。大学だけでなく、小中高や民間語学学校、ITやBPO企業の日本語トレーナーなど、さまざまな現場の日本語教師の他、日本語教師を目指す人、日系企業幹部など、日本語教育に関心を持つ幅広い会員が参加しています。

定例会を年6回開催し、会員の研究発表を通じて情報交流、教師のブラッシュアップを行っています。近年は会員の関心の広がり大連の日本語教育ニーズの多様化と専門化にあわせ、より深い議論ができるように部会活動（「ビジネス日本語人材育成研究会」2010年既設、「作文部会」2012年予定）を進めています。

### 3. 今後の活動

定例会と部会活動をより充実させることはもちろんのこと、今後は大連の日本語教育を紹介する窓口としての役割も果たしたいと考えています。

ぜひ北京日本文化センターのお力添えをお願いいたします！

大連日本語教師会HP [http://maruta.be/dalian\\_jp\\_teacher](http://maruta.be/dalian_jp_teacher)  
お問い合わせ [gukoudalian@yahoo.co.jp](mailto:gukoudalian@yahoo.co.jp) 谷口恵

## 参加大連日语教师研修会感想

大連日语教师会会長：谷口恵

### 1. 此次参加的研修会

2011年12月包括我在内的30名大連日语教师会成员参加了在大連外国語学院举办的“大連日语研修会”。这是继1月佐藤老师的研修会后第二次以教师会的身份参加北京日本文化中心举办的研修。

此次研修会历时两天，分为六个主题进行了充实的项目学习。我们以学习者的身份了解了学习者的心情，在听讲座内容的同时对自己的授课进行了反思，在小组讨论中获取灵感，这些都给我带来很大收获。此外，可以真实感受到各位教师的授课技巧也是参加此次研修会的一大亮点。

### 2. 大連日语教师会介绍

大連日语教师会是为大連市日本語教育贡献力量为目的，在2000年创立的组织。创立时有日本人教师28名，现在已有包括中日教师在约160名会员。不仅有在大学、中小学、民间语言学校，IT、BPO企业的日语培训机构的日语教师，还有想成为日语教师的人，日系企业的干部等诸多关心日语教育的成员加入其中。

教师会每年举办六次，通过会员的研究报告进行信息交流、教师进修。近年由于会员关心主题的扩大及大連日语教育需求多样化、专门化，以后我们将进行更深层次的部会活动。（“商务日语人才育成研究会”2010年设立，“作文部会”将在2012年设立）

### 3. 今后的活动

今后我们还会继续充实例行会议和部会活动，并力图发挥大連作为日语教育窗口的作用。

希望北京日本文化中心可以助我们一臂之力。

大連日语教师会网页[http://maruta.be/dalian\\_jp\\_teacher](http://maruta.be/dalian_jp_teacher)  
邮箱 [gukoudalian@yahoo.co.jp](mailto:gukoudalian@yahoo.co.jp) 谷口



# 済南日本語教師研修会

日程：2012年3月16日(金)・17日(土) 会場：山東青年政治学院

研修参加校：山東青年政治学院(主催校)、山東师范大学、山東女子学院、山東财经大学、山東政法学院、山東旅游职业学院、山東交通学院、山東商业职业技术学院、済南大学、山東轻工业学院、齊魯师范学院(計11校49名)

巡回研修7か所目の場所は、山東省の省都・済南市です。北京から高速鉄道でたった一時間半。省都らしい経済発展の様子に加え、黄河や泉、山の美しさも印象的な場所です。特に泉は有名で、昔から「泉の都」と呼ばれています。

今回の主催校である山東青年政治学院はもともとは政治学の学校ですが外国語教育も盛んで、日本語以外にも、英語・韓国語・ドイツ語・アラビア語など、全部で7言語の専門があります。学生さんたちにも講義も行いましたが、皆さんとてもきちんとしていて、日本語をはじめたばかりの1年生も一生懸命聞こうとしてくれました。

研修には、主催校を含む11校の先生が参加してくださいました。「こういう研修は初めて」「もっと勉強したい」という声がたくさん聞かれました。またいつかゆっくり一緒に勉強したいですね。

## 日本語教師研修会

山東青年政治学院：管秀蘭

半年間の連絡と準備期間を経て、国際交流基金北京日本文化センターと山東青年政治学院の共催により、済南地域日本語教師研修会を本校の東キャンパスで開催するのはこびとなった。

研修会では、日本語教育専門家の松浦とも子さん、柳坪幸佳さんが学生向けに新しい日本語能力試験と日本語学習法について講義をし、また、日本語読解と作文の授業について、参加者の教師に対して熱心な指導と交流を行った。また、国際交流基金の活動内容についての紹介があったほか、お二人からは、今回が会場のみなさんの日本語の教学に役に立つような研修会になり、さらには日中文化交流が促進していったほしいという話があった。

今回の研修会の開催は、済南の大学日本語教師にとって、共に学んで成長する機会を提供することができたことに限らない。より重要なことは、今回の活動を通じて、済南の日本語専攻のある大学が集まり、一緒に学んで交流ができたことである。参加した日本語教師はそれぞれ、今後このような教師や学校を超えた交流を深めていくことが、済南の日本語教学と一緒に発展していくことにつながるのだと、口をそろえて話していた。

参加者からは、今後も国際交流基金の支援、特に訪日研修や国内での日本語教授法研修の機会が、より多く提供されるよう希望があった。国際交流基金が今後も引き続き日本語の教学と学習の方面において、支援と活動を展開していただきたいと思います。

巡回研修の第七個の目的地は山東省の省会済南市。从北京出发，乘坐高铁仅需一个半小时便可到达。城市总体看上去经济发达，同时因为临近黄河，依山傍水，自然景观也非常美丽。特别是这里的泉水很出名，自古就有“泉城”的美誉。

这次研修会的承办学校是山东青年政治学院，虽然身为一所以政治学科为主的学校，但对外语教育方面格外重视。除了日语以外，还有英语、韩语、德语、阿拉伯语等7门语种专业。这次也做了面向学生的讲座，听讲座的学生们井然有序，连才开始学习日语没多久的一年级的学生们都争先恐后地积极提问。

包括承办校在内，参加这次研修会的老师们分别来自11所学校。“第一次参加这样的研修会”，“还想再继续参加”，我们听到了很多老师发出这样的感慨。如果将来有机会，真希望能再次跟他们一起学习。

## 日语教师研修会

山東青年政治学院：管秀蘭

经过近半年的联络和准备，由日本国际交流基金会北京日本文化中心主办，山东青年政治学院承办的济南地区日语教师教学研修会，终于如期在我校东校区举行了。

研修会上，日语教育专家松浦友子女士、柳坪幸佳女士首先面向学生做了关于新日本语能力考试和日语学习技巧方面的亲自授课，然后针对日语读解、日语作文的授课方法与到会老师进行了热情的指导和交流。同时，两位专家还向大家介绍了日本国际交流基金会的工作内容、工作方式，表达了希望能够通过基金会帮助大家做好日语教学，推进中日文化交流的愿望。

本次研修会的举行，不仅为济南地区的高校日语教师提供了一个共同学习进步的机会，更重要的是通过本次活动，把济南地区设有日语专业的高校召集在一起，使大家得以共同学习、共同交流。与会教师纷纷表示今后要加强教师之间、校际之间的交流，推动济南地区日语教学的共同发展。

与会老师们还表达了希望通过日本国际交流基金会的支持，得到更多的赴日研修及国内日语教学研修机会的愿望。希望日本国际交流基金会能够继续给予更多教育学习方面的支持和活动组织方面的指导。





国際交流基金  
北京日本文化センター  
中国・地域巡回教師研修  
2011

時間		内容		
3月16日 金曜	午後	14:00-15:30 1時間半	学生向け 「新しい日本語能力試験の説明会」	松浦
		16:00-17:30 1時間半	学生向け 「アニメ・マンガの日本語」	柳坪
3月17日 土曜	午前	9:10-11:30 2時間20分	教師向け「中上級向け読解の教え方」	柳坪
		昼休み		
	午後	14:30-16:30 2時間	教師向け「中上級向け作文の教え方」	松浦
			解散	



## 济南日本語教師研修会の 本校での開催によせて

山東青年政治学院：副院長 李章泉

国際交流基金北京日本文化センターと山東青年政治学院の共催で、済南地域日本語教師研修会を2012年3月16日、17日に山東青年政治学院の東キャンパスで開催しました。外国語学院院长の武丽娜教授が司会、学校指導者の李章泉教授が挨拶をしたほか、国際交流基金北京日本文化センターの松浦とも子さん、柳坪幸佳さんのお二人の日本語教育専門家が講師を務め、外事弁公室副主任の蘆潔教授が出席しました。

2日間にわたる研修会は、まず3月16日に学生向けに、新しい日本語能力試験と日本語学習方法について集中講義を行いました。これには山東青年政治学院外国語学院日本語学部の学生、山東财经大学の50名近い学生が積極的に参加し、会場は熱気につつまれました。

続いて3月17日の1日は、日本語教師向けに日本語教授法研修を開催しました。山東師範大学、山東财经大学、済南大学、山東交通学院など、11校の大学から50人ほどの中国人、日本人の教師が参加しました。参加者は日本語の作文の教え方と読解の教え方についてそれぞれ意見を交わし、日本の専門家とより深い討論を行いました。それにより今回の研修の成果が深まり、日本語教学研究の発展につながったといえます。研修会は熱い雰囲気のまま閉会となりました。

今回の研修会の成功により、済南の大学間の学術的な交流がより進み、山東青年政治学院と各学校の連携を深めることができました。これにより、教師の教学と教学研究の発展とレベルアップのためのプラットフォームが提供できたと考えています。また学生にとっても、刺激的で楽しい時間を過ごせましたし、より日本語が好きになり、ひいては勉学に励んで祖国に貢献するという思いも高まったことでしょう。

## 济南地区日语教师 教学研修会在我校举行

山東青年政治学院：副院長 李章泉



由日本国際交流基金会北京日本文化中心主办，山東青年政治学院承办的済南地区日语教师教学研修会，于2012年3月16日和17日在山东青年政治学院东校区举行。研修会由外国语学院院长武丽娜教授主持，校领导李章泉教授致辞，日本国際交流基金会北京日本文化中心的两位日语教育专家松浦友子女士和柳坪幸佳女士担任主讲教师，外事办公室副主任卢杰教授出席了会议。

为期两天的研修会分两部分进行：3月16日是面向学生的集中授课，内容为新日本语能力考试的应试技巧及日语学习方法，山東青年政治学院外国语学院日语专业学生和山東财经大学的近50名学生踊跃参加，现场气氛热烈高涨。

3月17日全天进行的是面向教师的日语教学法研讨，来自山东大学、山東财经大学、済南大学、山東交通学院等11所高校的50余名中外专家学者和日语教师参加了此次教学研修。与会人员针对日语写作课程的教学方法和日语读解课程的教学方法各抒己见，与日本专家展开深层次的研讨，并就深化本次研究成果，推进日语教学研究发展献计献策。研修会在热烈的讨论中闭幕。

本次研修会的成功举行推进了驻济高校之间的学术交流，密切了山東青年政治学院与驻济各高校之间的专业联系，为加强教学质量工程建设、促进教师教学科研水平的内涵式发展提供了平台；同时进一步激发了学生珍惜时光、热爱专业、学有所成、报效祖国的学习热情。

# 教師向け講義内容

巡回研修の授業は、一方向の講義型ではなく、グループで体験し、話し合いながら進める双方向の参加型です。方法だけを伝えるのではなく、その活動を通して学習者に何が起きているかを考え、どう工夫すれば現場の授業でその効果が生まれるのか、考えるヒントになればと思っています。

## ■ JF 日本語教育スタンダード

JF 日本語教育スタンダード（以下、JF スタンダード）は、日本語の教え方、学び方、学習成果の評価の仕方を考えるためのツールである。JF スタンダードを使うことの意義は、日本語で何がどれだけできるかという熟達度がわかることである。また、JF スタンダードはコースデザイン、教材開発、試験作成にも活用可能である。

JF スタンダードは、ヨーロッパの言語教育の基盤である CEFR (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment) の考え方を基礎にして作られたものである。CEFR はヨーロッパの言語教育・学習の場で共有される枠組みであり、2001 年に発表されて以来、ヨーロッパのみならず世界で広く着目され、各言語で実際に利用されるようになった。

今回の講義では JF スタンダードの理念をお話した後、日本語の熟達度を「～できる」という形式で示した「Can-do」を実際に見ながら、言語活動とその熟達について考察した。

参考：「JF 日本語教育スタンダード」 <http://jfstandard.jp/>

## ■ 会話の教え方

本研修で扱った「会話の教え方」は、理論編と実践編の二部で構成される。まず第一に理論編では、「知識はあるのに話せない」という多くの教師が持つ悩みに対し、そのひとつの要因と考えられるプロセスの違い、すなわち「話すこと」が本来持つプロセスと、授業の中での活動プロセスとが違っているのではないかという点について問題提起をした。また、一口に話すといっても、相手があってやりとりをするのと一人でまとまった話をする事との違いについても考察した。この点については JF スタンダードの「やりとり」と「産出」の違いも参照した。

その後、実践編では、絵を見ながらグループでひとつの活動を組み立てていく活動を体験。最後に授業で実際にどんなことができるかのアイデアを共有した。「紙芝居ができる」「物語の登場人物になってロールプレイをする」などのアイデアが参加者から挙がった。

## ■ 読解の教え方

「読解の教え方」では、「トップダウン式読解活動」と「ピア・リーディング」を、実際に体験してもらいながら解説した。

日常生活では、新聞や雑誌を読むときのように、必要な情報を探しながら速く読む場合もあるし、文章に速く目を通して話の流れや大意を掴む読み方をする場合もある。例えば論文を読むときのような、複雑な構造の文をじっくりと解読していく読み方だけではない。そこで、日本語の授業でも多様な読み方に合わせた、多様な読解活動が必要となる。

「トップダウン式読解活動」とは、「目的」や「予測」、及び「推測」の元になる背景知識があり、仮説検証しながら理解していく読み方である。また、「ピア・リーディング」とは、学習者同士が協力して行う読解活動である。

当講義では、そうした読解活動を、参加した教師の方々に、実際に学習者の立場で体験してもらった。それから、その体験を踏まえて、活動の意味や課題などを全員で話し合った。

## ■ 聴解の教え方

日本語能力試験の聴解部分の点数は、日本国内の日本語学習者より海外の学習者のほうが低い。「聴解の教え方」では、海外でも生徒の聴解能力を効果的に伸ばせるよう、普段の聴解の教え方について振り返ってもらった。

具体的には、まず、日常生活の聴解で起こっていることとはどのようなことかを振り返り、意識し直すことで聴解指導の目標を再確認した。次に、情報選別、予測、推測、質問といったストラテジーの練習法を、実際に体験してもらいながら具体的に紹介した。

## ■ 作文の教え方

「作文」というと、教室の中から出ないイメージがある。原稿用紙のマスを一文字ずつ埋めていくイメージがある。赤い文字や線で埋め尽くされて戻ってくるイメージがある。だから、今回は「作文の教え方」とは言わず、「書くことを考える」と言いたい。冒頭にそう話して、講義をした。何のために書くのか、書く目的を考えさせる、読み手を意識して書かせる、真正性を大事にする、つまりコミュニケーションとして書くことを捉える、それがメッセージである。

教師は書くために必要な能力について考え、書くプロセスや動機にも配慮しつつ、授業をデザインする必要がある。講義ではそのためのポイントを確認した。また、学生の書いた2つの作文を比べながらピア・フィードバックや評価について、参加者の皆さんとともに考えた。

今回の講義の内容をどのように日ごろの授業に生かしていくかは、時間をかけて考えていかなければならないと思います。まずは情報を共有し合い、それから現場との距離感や、じゃあどのように現状の問題を解決していけばいいのかということ、これからも現場の先生方とおおいに語り合っていければと思います。

# 学生向け講義内容

## ■ アニメ・マンガの日本語

「皆さんは、日本のアニメが好きですか？」そう尋ねると、どこでも「はい！」「大好きー！！」と大きな声が返ってくる。

当講座では、アニメ・マンガの日本語の特徴として「キャラクター表現」と「オノマトペ（擬音語、擬態語）」を挙げ、解説した。例えば、自分のことを「拙者」という人物は「武士」や「忍者」のように感じられる。「役割語」、「キャラ語」とも呼ばれる「キャラクター表現」は登場人物の個性を引き立て、より魅力的にしている。

会場の生徒たちにも、アニメ・マンガの登場人物になった気分でお話してもらった。声優のような可愛い声の女子学生がいたり、演技力たっぷりで女性のキャラクターになりきってくれた男子学生がいたり、毎回楽しい発表が続いた。

「オノマトペ」は、日本語学習者にとっては習得しにくいものと言われているが、日本語の表現を豊かにするもので実際にもよく使われるものだ。このオノマトペは、国際交流基金のWebサイト「アニメ・マンガの日本語」や「WEB版エリンが挑戦！にほんごできます。」で楽しみながら学習できる。

学習者が大好きなアニメ・マンガを利用することで、楽しみながら日本語を学んでほしいと思う。

## ■ 日本語能力試験説明会

中国には、在学中にN1を目標として勉強している学生さんがたくさんいる。問題構成や時間配分を説明した後、一緒にサンプル問題を考えてみたが、どの学生も大変熱心で、一生懸命説明を聞く姿が本当に印象的だった。

2010年から始まった新しい日本語能力試験で大切なのは、「課題遂行」という概念だ。「課題遂行」とは、日本語を通して何かができるようになるということ。学生たちにとっては、日本語による専門家の講義を聞くことも、もしかすると新しい課題遂行の経験だったかもしれない。様々な場面で日本語を通じて達成できる力をつけられるように、これからもしっかり勉強を続けてほしいと思う。



## 編集後記

今回、巡回研修を通じていろいろな場所へ行き、いろいろな方にお会いすることができました。暖かい場所、寒い場所、海の近くから内陸まで、中国の広さを肌で感じる日々でした。また、先生方が普段どうい場所でも過ごし、どういった雰囲気の中で仕事をしていらっしゃるのか、その雰囲気や味わえたのも得難い経験でした。これからも中国各地の日本語教育を先生方と一緒に盛り上げるべく、頑張っていきたいと思っています。(柳坪)

講義やワークショップでは、参加者同士でグループになって話し合ってもらえる機会をできるだけ多く作るようにしていました。そうした中で、先生方がそれぞれの問題を抱え悩みながら、それでも試行錯誤を続けているという話を何度も耳にして、私自身も強く力づけられました。また、今回の地域研修会は同じ日本語教師仲間がつながる場となったようで、参加した多くの方から感謝のお言葉を頂戴しました。しかし、そうした「つなぐ」仕事ができることを、私自身、本当にありがたく感じています。(佐藤)

桂林、青島、重慶、大連など……巡回研修で訪れた都市の名前を挙げると、「いい所ばかりですねー」と言われてしまいました。確かに良い所ばかりでしたが、観光する時間は全くなく、本音はちょっと残念!? でも、その土地へ行かなければ感じられない人々との出会いがあり、その土地の日本語教育事情を聞き、若い先生たちと語り、この広大な国で国際交流基金としてすべきこと、できることについて考えさせられた巡回でした。今回の巡回研修で多く耳にした言葉、それは「これをきっかけにして……」という嬉しい言葉です。きっかけを作り、場を作り、つないでいくことを目標に、また来年も更に内容を充実させて各地を回りたいと思います。(松浦)

# 在中国的日语教育项目

## ■ 日语教师研修

日本国际交流基金会为日语教师提供研修学习的机会。研修分为国内举办的研修会和在日本国际交流基金会附属机关—日本語国际中心（日本埼玉县）的访日研修。

## ■ 国内日语教学研修

### 1. 全国大学日语教师研修会

该项目由北京日本文化中心和高等教育出版社共同举办，每年夏季招募约150—200名教师研修。

### 2. 全国中等日语教师研修会

该项目由北京日本文化中心和人民教育出版社共同举办，每年春季和夏季招募约100名教师研修。

### 3. 日本語教育学研究讲座

此讲座主要以北京市的大学日语教师为对象，每周一次在北京日本学研究中心举行。讲座使用日本国际交流基金会最新开发的“日本国际交流基金会日语教授法系列”教材，由北京日本文化中心日语教育专家和北京日本学研究中心教授授课。

### 4. 地区巡回日语教师研修会

北京日本文化中心跟さくらネットワーク中核メンバー或者高等院校等一起协力在中国各地举办研修会。

## ■ 访日日语教学研修

### 1. 中国大学日本語教师访日研修 / 每年一次 40名

该项目每年一次，全国范围内招募约40名大学日语教师，从9月到11月的2个月时间里，在位于埼玉县埼玉市的日本国际交流基金会日本語国际中心进行研修。主要研修内容为“日语”，“日语教学法”，“日本事情”和“日本文化”等。

### 2. 中国中学日本語教师访日研修 / 每年一次 20名

该项目每年一次，全国范围内招募约20名中学日语教师，从2月起在位于埼玉县埼玉市的日本国际交流基金会日本語国际中心进行为期约二个月的研修。主要研修内容为“日语”，“日语教学法”，“日本事情”和“日本文化”等。

除教师研修以外，日本国际交流基金会北京日本文化中心以中国的日语教育发展为目标，对大学、初中和高中的日语教师研修、日语教材的编写以及日语演讲大会的举办提供支援和赞助。详细情况见本中心网站。



【地铁】  
国贸站下 从D出口往西走3分钟